

# 第156回 組合会が開催されました

平成29年2月27日(月)、「奈良県産業会館」において第156回組合会が開催されました。

議第3号の平成29年度事業計画及び予算(案)が議決されたほか、各議案とも慎重な審議が行われ原案どおり議決されました。



## 第156回組合会

日程第1選第1号	学識経験を有する者のうちから選挙する監事の選挙について
日程第2議第1号	平成28年度変更事業計画及び予算(案)について
日程第3議第2号	奈良県市町村職員共済組合定款の一部を変更(案)することについて
日程第4議第3号	平成29年度事業計画及び予算(案)について

## 新 監事の紹介

第156回組合会におきまして堀井利明氏が学識経験監事に選出されました。

任期は二年間となります。



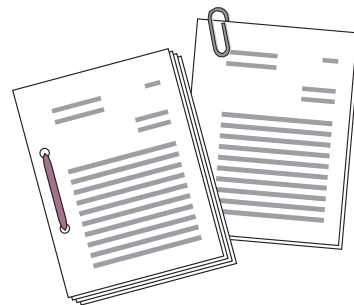
## 平成29年度事業計画及び予算の概要について

平成29年度事業計画及び予算は下表をもとに計上しており、各経理の概要は次頁以降をご覧ください。

### 平成29年度事業計画・予算の基礎数値

#### ○地方公共団体の数(平成29年度末推計)

市	町	村	一部事務組合等	計
12	15	12	30	69



#### ○組合員数・被扶養者数・標準報酬月額額の総額・標準期末手当等の総額(平成29年度末推計)

(単位:人)

(単位:千円)

種別	組合員数	被扶養者数		標準報酬の総額		標準期末手当等の総額	
		組合員1人当たり		長期	短期	長期	短期
一般組合員 (うち特別職)	12,161 (88)	11,513 (90)	0.95 (1.02)	4,723,326 (47,960)	4,802,506 (54,912)	18,477,584 (219,884)	18,527,685 (234,781)
長期組合員 (うち特別職)	0 (0)	— —	— —	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
市町村長組合員	39	48	1.23	20,748	29,718	103,818	121,460
市町村長長期組合員	0	—	—	0	0	0	0
特定消防組合員	1,683	2,768	1.64	671,517	671,517	2,448,261	2,448,711
継続長期組合員	0	—	—	0	—	0	—
任意継続組合員	208	158	0.76	—	65,312	—	—
合計	14,091	14,487	1.03	5,415,591	5,569,053	21,029,663	21,097,856

○標準報酬月額・標準期末手当等と掛金・負担金との割合

(単位：%)

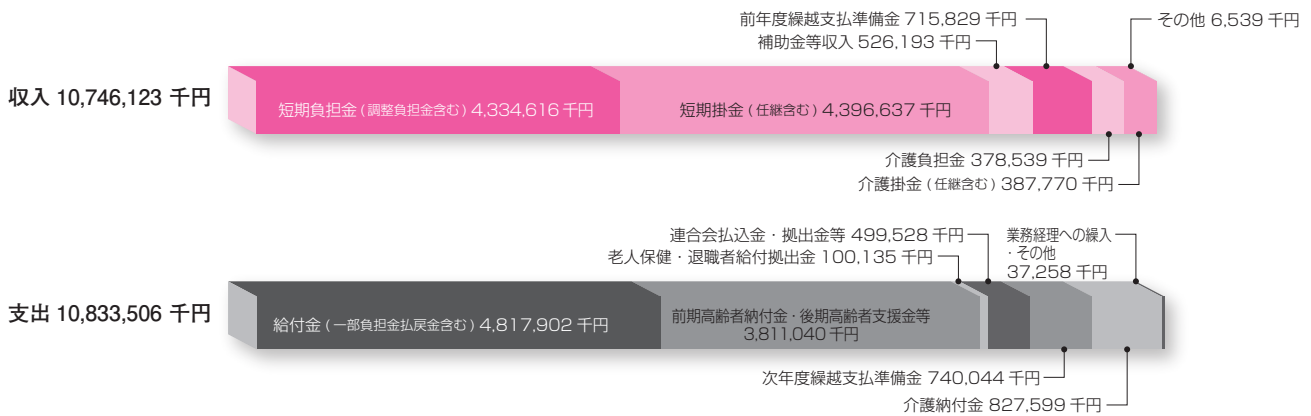
組合員種別	標準報酬月額及び標準期末手当等の額と掛金との割合(掛金率)						標準報酬月額及び標準期末手当等の額と負担金との割合(負担金率)									
	短期掛金	介護掛金	厚生年金保険料		退職等年金掛金	保健掛金	短期負担金	介護負担金	短期的負担金	財政調整負担金	厚生年金負担金		基礎年金公的負担金	退職等年金負担金	経過的長期負担金	保健負担金
			4月～8月	9月～3月							4月～8月	9月～3月				
市町村長職 特別一般 特定消防	50.40	6.32	88.16	89.93	7.50	1.90	50.40	6.32	0.06	0.20	88.16	89.93	37.70	7.50	0.1122	1.90
市町村長期組合員 長期組合員	2.11	—	—	—	7.50	1.90	2.11	—	0.06	—	—	—	—	7.50	0.1122	1.90
継続長期	—	—	88.16	89.93	7.50	—	—	—	—	—	88.16	89.93	37.70	7.50	0.1122	—
任意継続	100.80	12.64	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

短期経理(予算)

この経理は、短期給付事業(医療給付や各種給付金などの医療保険制度)と介護保険料徴収に係る経理です。

平成29年度は、収入において193,665千円(注)の増、支出において主に保健給付等の増加により468,325千円(注)の増を見込み、87,383千円の当期損失金を生ずる見込みです。その内訳としては、短期部分で当期損失金25,379千円、介護部分で当期損失金62,004千円が生ずる見込みで、短期部分では前年度より繰り越す欠損金補てん積立金を、また介護部分では前年度より繰り越す介護積立金をそれぞれ充当します。

○短期経理収支内訳 当期短期損失金 25,379千円 当期介護損失金 62,004千円



\*文中の(注)の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

特定保険料率に相当する財源率について

短期給付事業に係る財源率のうち、高齢者医療制度に対する拠出金に必要な財源率(特定保険料率)は、右の表のとおりです。

特定保険料率は、組合員の皆さんに高齢者医療制度への支援について理解を深めていただくため、周知することとされています。

(奈良県市町村職員共済組合定款第40条第2項)

定款上の短期財源率(所要財源率)	100.80%
100.80%のうち	
前期高齢者納付金	24.63%
後期高齢者支援金	19.49%
老人保健・退職者給付拠出金	1.16%
合計	45.28%

### 厚生年金保険経理 (予算)

この経理は、平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い、厚生年金に係る保険料を徴収し、全国連合会へ払込みを行う経理です。

収入を全て全国連合会へ支出として払込むため損益は生じないこととなります。

収入 19,551,050 千円 (負担金 12,006,232 千円 ・ 組合員保険料 7,544,818 千円)

支出 19,551,050 千円 (負担金払込金 12,006,232 千円 ・ 組合員保険料払込金 7,544,818 千円)

### 退職等年金経理 (予算)

この経理は平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い退職等年金給付(いわゆる「新三階」)に係る所属所からの負担金・掛金の徴収を行い、全国連合会へ払込みを行う経理です。

収入を全て全国連合会へ支出として払込むため損益は生じないこととなります。

収入 1,268,848 千円 (負担金 634,424 千円・掛金 634,424 千円)

支出 1,268,848 千円 (負担金払込金 634,424 千円・掛金払込金 634,424 千円)

### 経過的長期経理 (予算)

この経理は、平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い、主に旧職域年金部分への給付、既裁定の公務障害・遺族年金等に係る所属所からの負担金の徴収を行い、全国連合会へ払込みを行う経理です。

収入を全て全国連合会へ支出として払込むため損益は生じないこととなります。

収入 133,144 千円

支出 133,144 千円

### 経過的長期預託金管理経理 (予算)

この経理は、平成 27 年 10 月からの被用者年金の一元化に伴い、旧職域年金部分に係る積立金を原資とした全国連合会からの預託金(貸付経理への貸付金や縁故地方債など)の管理・運用を行う経理です。

収入を全て全国連合会へ支出として払込むため損益は生じないこととなります。

収入 63,801 千円

支出 63,801 千円

### 業務経理 (予算)

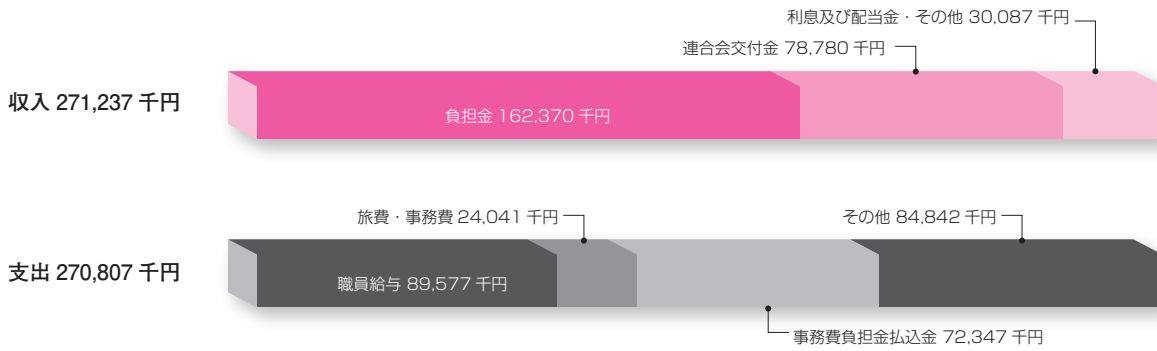
この経理は、短期給付や長期給付に要する事務費、人件費等を含む共済組合の全体的な経費を賄う経理です。

平成 29 年度は、収入において主に組合員数の増加により 18,224 千円(注)の増、支出においては連合会分担金等の増加により 22,212 千円(注)の増を見込みましたが、430 千円の当期利益金を生ずる見込みです。

なお、今後も年金受給者が増加傾向にあり関連する事務経費も年々増加傾向にあることから、単年度ごとの節約ではなく、計画的に経費抑制に取り組んでいます。

○業務経理収支内訳

当期利益金 430 千円



\*文中の(注)の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

保健経理(予算)

この経理は、組合員やその家族の福利厚生や健康保持・増進などを目的とした各種事業を行う経理です。

平成29度は、収入において組合員数の増加(掛金・負担金率は前年度と同率)により4,041千円(注)の増、支出においては特定健診の受診率の向上を見込むことにより35,264千円(注)の増を見込みましたが、6,723千円の当期利益金を生ずる見込みです。

なお、平成29年度より婦人科健診・乳がん検査のマンモグラフィ、または乳腺超音波検査(エコー)費用の全額を助成することとしています。(10頁参照)

○保健事業計画の費用内訳

項目	平成29年度	項目	平成29年度	項目	平成29年度			
保健関係	成人病健診	26,557	保養関係	保養施設利用助成	4,000	その他	旅費	326
	大腸検査	2,605		小計	4,000		事務費・電算処理費用	2,361
	精密検査	2,335	図書関係	保健関係図書	3,356		諸謝金	150
	歯科健診	10,253		広報	576		(仮称)医療費増高対策協議会	50
	婦人科健診	26,444		小計	3,932	小計	2,887	
	人間ドック	143,366	講座関係	健康講座	400	保健指導	特定健康診査	7,820
	電話健康相談	1,348		所属所健康管理担当者研修会	100		特定保健指導	7,910
	メンタルヘルス相談	916		ライフプランセミナー	800		小計	15,730
	Webストレスチェック	3,139		小計	1,300	レセプト審査	2,600	
	森林セラピー	200			合計	247,712		
	健康コンテンツ(Web)	100						
	小計	217,263						

○保健経理収支内訳

当期利益金 6,723 千円



\*文中の(注)の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。

## 貯金経理(予算)

この経理は、貯金加入者の皆さんからお預かりしたお金を、安全かつ効率的に運用することで収益を得て、利息として還元することを目的とした経理です。

平成29年度は、収入において55,077千円<sup>(注)</sup>の増、支出においては主に年利1.25%の支払利息を見込むことにより12,356千円<sup>(注)</sup>の減を見込み、265,145千円の当期利益金を生ずる見込みです。

なお、厳しい金融情勢が続く中、資産運用にあたっては、投資銘柄を十分精査し、安定的な収入の確保に努めてまいります。期中においても運用益の状況を勘案して、支払利率の変更を適宜行うことといたします。

### ○貯金の加入状況見込み

平成29年度末推計			
貯金額	68,450,636千円	組合員加入率	68.15%
貯金者数	9,507人	支払利率	年利 1.25%
貯金者1人当たりの貯金額	7,200千円		

### ○貯金経理収支内訳

当期利益金 265,145千円



\*文中の<sup>(注)</sup>の数値は前年度予算額との対比額(増減額)を表す。





## 貸付経理(予算)

この経理は、住宅建築等に係る資金が必要なときやご家族の入学・修学にかかる費用が必要なときなどに、共済組合がその資金を融資する(貸し付ける)ことにより、組合員の皆さんの生活の安定を図ることを目的とした経理です。

平成29年度は、収入において主に貸付残高の減少により貸付金利息収入が減少することなどにより20,833千円(注)の減、支出においても同様の理由により財源である経過的長期預託金管理経理へ支払う支払利息も減少することから20,621千円(注)の減を見込むことなどから、8,213千円の当期損失金を生ずる見込みで、前年度より繰越す欠損金補てん積立金を充当します。なお、貸付事故が多く、それらに対する保険金(債権保全事業)のための保険料となる「連合会払込金」が割高となっていることから、貸付事故の防止のための周知活動を一層強化することとしています。

### ○貸付経理収支内訳 当期損失金 8,213千円



### ○貸付条件(\*)・貸付状況

(※)平成29年4月現在

種類	貸付条件				貸付状況(平成29年度末推計)		
	利率(年)	最高限度額	償還期間	措置期間	件数	貸付金額	割合
普通貸付	2.66%	2,000千円	120月	一月	449件	268,000千円	12.21%
住宅貸付	2.66	18,000	360	—	587	1,619,000	73.78
災害貸付	家財	2,000	120	—	0	0	0.00
	住宅	18,000	360	—	3	3,840	0.17
	再貸付	19,000	360	—	1	160	0.01
在宅介護対応住宅貸付	2.40	3,000	330	—	33	42,000	1.91
特別貸付	医療	1,000	120	—	1	1,200	0.05
	入学	2,000	120	—	68	32,900	1.50
	修学	10,800	150	72	224	209,000	9.53
	結婚	2,000	120	—	17	15,200	0.69
	葬祭	2,000	120	—	3	3,300	0.15
高額医療貸付	無利息	高額療養費相当額	高額療養費が支給されるとき 支給される額より償還する		0	0	0.00
出産貸付	無利息	出産費・家族出産費相当額	出産費等が支給されるとき 支給される額より償還する		0	0	0.00
合計					1,386	2,194,600	100.00